

平成27年度 上越市総合学習部 活動報告

部長 志村 正幸

1 研究主題

これからの時代に求められる資質・能力と総合的な学習の時間の在り方を探る。

2 研究の概要

- 6月 4日(木) 第1回小委員会・平成27年度の組織作り、研究テーマ、内容の協議
- 11月 5日(木) 第2回小委員会・総合学習部会の運営計画についての検討
- 11月11日(水) 上越市学校教育研究会総合学習部会の開催・講演会、アンケートの実施

3 研究の実際

- (1) 日 時 平成27年11月11日(水) 14:30～16:30
- (2) 講 師 上越教育大学教職大学院准教授 松井 千鶴子 様
- (3) 参加者 31名
- (4) 内 容

講師の松井准教授様からは「これからの時代に求められる資質・能力と総合的な学習の時間～アクティブ・ラーニングを中心に～」と題して、プレゼンテーションを用いたご講演をいただいた。

内容は「求められる資質・能力」、「総合的な学習とアクティブ・ラーニング」、「総合的な学習の時間で目指す探究的な学習」の3つであった。講演要旨の一部は次のとおりである。

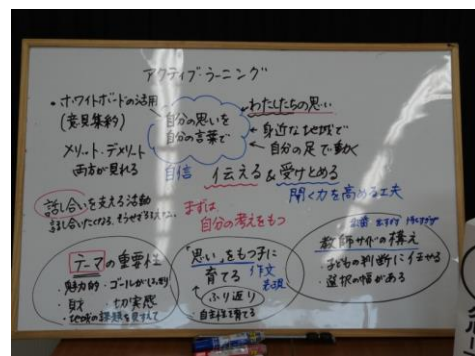
- ・他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を身に付けることが大切である。
- ・知っていることを使ってどのように社会・世界とかわかり、よりよい人生を送るかが大事である。
- ・総合的な学習の時間は、特性としてアクティブ・ラーニングを内在しており、より高次のアクティブ・ラーニングを行うことが大切である。
- ・大切なのは、方法より目的である。社会生活で活用できる力を育てることである。
- ・探究的な学習とは、物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みである。「答えが多様で正答の定まらない問い」に納得できる見方や考え方、解決の方策を自分たちで生み出すことである。アクティブ・ラーニングによって、探究的な学習を質的に高めていく。

その後、東京都大久保小学校の実践「縁台プロジェクト」を動画で視聴し、6つのグループに分かれて協議を行った。その際、「アクティブ・ラーニングと言える子どもの姿」、

「その姿が生まれる要件」について話し合い、終了後3つのグループから協議内容を報告していただいた。参加者からは、「21世紀型の能力育成のためにアクティブ・ラーニングについて学習の機会がもてたのはよかった。」「グループ協議でも同じ悩みを抱えていることが理解でき、自分の考えの整理、これからの考え方の方向を模索できた。」等の感想が寄せられた。



講演する松井千鶴子准教授様



ホワイトボードを使った意見交流

4 成果と課題

総合的な学習の時間の授業づくりやアクティブ・ラーニングについて深く考えることができた。講演会の後半では、小グループでホワイトボードを使いながら、意見交換が行われた。その中で、小学校、中学校での総合学習の実態や悩みを話し合ったことも有意義であった。校内研究で総合学習に取り組む学校が少ない中ではあるが、授業を見て語り合う機会を設定していきたいと考える。